



北部っ子だより

豊田北部小学校だより 第12号平成29年3月19日発行 文責 教頭

最後に伝えたいこと 『命』を大切に

修了式 校長のお話



4月6日から始まった今年度の学校生活も1年生から4年生は今日が最後の日となりました。みなさんが登校した日を数えてみると、

1～4年生が202日、5・6年生が203日。この間、皆さんは元気に登校し、がんばって学習することで大きく成長できました。ですから1～5年生まで全員の進級を認めます。先ほど代表の子に「修了証書」を渡しましたが、みなさんは後で担任の先生からいただきます。そして6年生、全員の卒業を認めます。明日卒業証書を一人一人に手渡します。さて今日はみなさんに、どうしても伝えたいことを話します。それは「命」のことです。北部小学校の学校経営目標は「命とやる気を大切に作る学校」です。この一年間、先生方全員で、命を何よりも大切にし、北部っ子のやる気を高めようとしてきました。

「命」とはいったい何でしょう。どこにあるのでしょうか。今、多くの北部っ子が胸に手を当てていましたが、ここにあるのは心臓です。心臓が止まると死んでしまいますが命ではありません。みなさん、風が吹いている時に風は見えませんね。でも木が揺れれば、風が吹いていることが分かります。風と木の関係のように、「命」は見えなくても、ちゃんと教えてくれるものがあるのです。それはみなさんの時間の使い方です。50年くらい前、1963年の日本人の平均寿命は約69歳でした。この間に、医学は進歩し、食べ物や健康に注意をすることなどで、2016年には平均寿命が約84歳になり、15年も延びたこととなります。つまり約50年で15年分命が延びたということです。このことを聞くと「命は寿命なんだ。時間なんだ」とみなさんは思うかもしれません。

では、みなさんが、1時間自由に使える時間があるとしたら何をしますか。「ゲーム」「友達と遊ぶ」「テレビ」「読書」「寝る」「お手伝い」など、いろいろだと思います。いろいろある時間でも、「命とは、みなさんが使える時間のことだ。」と私は考えています。だから、みなさんが使える時間を大切にすること。さらに、その時間を人のために使えるような人になると、すばらしいですね。さらにもう一つ、人の命だけではなく、鉛筆や消しゴムなど、みなさんの身の回りにある物の命はどうでしょうか。鉛筆として文字を書く時間、消しゴムとして失敗した文字を消す時間が、それぞれの大切な命だと思いませんか。それを折ったり切ったりしたことはありませんか。鉛筆も消しゴムも、もっとみんなの学習のためにがんばりたいと思っていますと私は感じています。

最後に、みなさんには、自分の命とともに、自分の周りにいる人や、身の回りある物の命を大切に作る優しい人になってほしいと願っています。以上で、校長先生の最後のお話を終わります。

この1年、豊田北部小の教育活動に御協力いただき、ありがとうございました。

学年代表児童の発表

立派に発表してくれた代表のみなさんです。



1年生代表 3組

一年かんをふりかえって、二つのことをおはなしします。一つめは、がんばったことです。

一年生になって、ひらがな、かたかな、かん字、それから たしざんやひきざんのけいさんなど、たくさんのおぼえました。そして、できるようになりました。その中でも、わたしががんばったことはけいさんです。まい日まい日けいさんカードにとりくみました。だんだんできるようになって、いまでは、たしざんとひきざんをミックスしても、はやいタイムでできるようになりました。二つめは、うれしかったことです。一年生になって、あたらしいおともだちがたくさんできました。おともだちといっしょに、ひるやすみにおにごっこをしたのがたのしかったです。おともだちとなかよくなれて、うれしかったです。一年生では、はじめてのことがいっぱいできるようになりました。二年生では、またおともだちとなかよくなって、けいさんをもっともっとがんばりたいです。

2年生代表 1組

わたしは、がんばったことが三つあります。一つ目は、じきゅう走大会です。じきゅう走大会にむけて、クラスみんなでいっしょうけんめいにれんしゅうしました。じきゅう走大会で五いになりました。走っているとちゅうでつかれたけど、がんばって走って、十いいないに入れたので、うれしかったです。二つ目は、うんどう会です。黄組（きぐみ）には、勝てなかったけど、みんなすごがんばっていました。教室に帰ってくると、みんなあせがたくさん出ていました。三つ目は、九九テストです。上がりと下がりとシャッフルの九九をがんばってれんしゅうしました。一ぱつでごうかくできるように、家でもたくさんれんしゅうしました。ごうかくできて、とてもうれしかったです。三年生になったら新しい学しゅうがはじまります。理科や社会です。どんなことを学しゅうするのか、とても楽しみです。三年生になっても、うんどうやべんきょうをがんばります。

3年生代表 2組

わたしは、3年生でがんばったことが3つあります。一つ目は、長ふじです。長ふじでは、パソコンで新聞作りをしました。パソコンで文字を打つときは、ローマ字を使います。ローマ字は初めて勉強したので、むずかしかったけれど、少しずつがんばっておぼえました。3年生では、パソコンを使うときは、ローマ字表を見ていたので、4年生では、ローマ字表がなくても、文字を入力できるようにがんばりたいです。二つ目は、算数です。私は、かけ算の筆算が苦手です。だから、たくさん計算のれん習をしました。まだまちがえてしまうこともあるので、これからは正かくに計算できるように気をつけたいです。三つ目は、ぴょんぴょん記ろく会です。私は、よい記ろくが出せるように、昼休みや家でたくさんれん習をしました。本番では、前兩足とびはひっかからずにとべて、チャンピオンとびは、838回とべました。とてもうれしかったです。きつとれん習の成果が出たのだと思います。来年は、もっとよい記ろくが出せるように、れん習をがんばりたいと思います。4年生になってからも、勉強も運動もがんばりたいです。

4年生代表 1組

私が三学期にがんばったこと、一つ目は自主勉強です。私は二学期のテストで悪い点数をとって、とてもくやしかったので、三学期は自主勉強を45分以上するようにしました。その結果、がっかりするような点数をとることがなくなったのでよかったです。二つ目は、ぴょんぴょん記ろく会です。せんたく種目のあやとびを、毎日家で練習したので、最高きろくを出すことができました。二年生のお世話をしたり、きろくを数えたりすることができてよかったです。三つ目は二分の一成入式です。リコーダーや歌で家族に気持ちがつたわるようによびかけをしました。最後には、感謝の気持ちが伝わるようによびかけました。そして、一番ゆうきを出したことは、3学期の修了式の言葉を決めるときに、自分から立こうほしたことです。今まではまちがえたらどうしようと思ってなかなか発表ができませんでしたが、二分の一成入式でお母さんからの手紙を読んでから、これからは勇気を出していろいろと挑戦しているところを見せたいと思い、立こうほしました。5年生になっても勇気を持てる自分になりたいと思います。

5年生代表 1組

ぼくが5年生でがんばったことは二つあります。一つ目は応援団です。1年生から5年生の代表として水泳壮行会や陸上壮行会で6年生を応援しました。二つ目は委員会活動です。委員会のイベントで司会をやったり、文章を考えたりしました。応援団や委員会活動で代表としての責任や達成感を学びました。ぼくたちは4月から最上級生として北部小の代表になります。1年生から5年生をよい方向へ引っ張っていけるように、最上級生としてみんなの手本になりたいです。

6年生代表 2組

ぼくが、6年生で学んだことは二つあります。一つ目は、「友達と協力すること」です。修学旅行では、グループ活動があり、6年生全員で協力し合い最高の修学旅行になりました。なので、中学校でも協力することを心がけたいです。二つ目は、「たくさん練習すればうまくいく」ということです。ぼくは、北部っ子委員会でした。北部レンジャーをやり、全校の前で劇をやったのが、とても緊張しました。たくさん練習したので、本番を成功させることができました。終わったあとには、達成感がありました。中学校でもいろいろな行事があるので緊張するけど、たくさん練習してがんばりたいです。この1年で学んだ協力すること、努力することなどを生かして、中学校でも友達と協力しがんばりたいです。